

令和5年度 学校評価のまとめ

学校評価の公表について (手段・時期等)	ホームページ上にて公開
-------------------------	-------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつか行事を見せていただいたが、生徒たちがコロナ禍を経て躍動している様子がとても印象的であった。引き続きよろしくお願ひいたします。 ・保護者及び生徒による学校評価では例年高い評価を得ているので、素晴らしい学校経営が行われているものと安心している。 ・学校生活が充実しすぎていると、疲れてしまう生徒がいなか心配である。 ・地域の生徒数減少に伴い、本校でも募集定員が減ってしまった。学校の生き残りのため、学校のPR方法をもっと考えていかなければいけないと思う。 ・今年度は、文化祭も公開し、学校、生徒の活動の様子がよく分かりました。よい機会をいただきありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事はコロナ前の日常を取り戻しており、学校には活気が戻ってきている。 ・保護者及び生徒からは学校経営に関して、概ね高い評価を得ており、今後も更に良い評価が得られるよう継続していく。 ・全ての生徒が安全に安心して生活できるよう、一人一人に寄りそった指導を今後も組織的に行っていく。 ・地域から支持され続けるためにも、従来の学校説明会や体験入学とは違う形での学校のPR方法を模索していきたい。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭で授業の予習・復習をしている」について、「家庭」に限定しているため、数値が低くなっているのではないかと。学校や図書館、塾などで放課後に自学自習をしている生徒はこの数値以上にいると思われる。 ・「少人数指導を受けて一層理解が深まったようだ」の質問に対して、「よくわからない」という回答率が高い。授業公開日などで意図的に参観できる機会を増やしたらよいのではないのでしょうか。 ・図書館の利用率の低さに驚きました。年間利用率が1.5冊とは寂しい限りです。デジタル化が進んだとしても、やはり本に触れる機会を増やして欲しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭で授業の予習・復習をしている」については、「家庭」に限定しない質問の仕方を検討する。 ・少人数授業は、教員の目が行き届きやすいため、学力向上には有効な手段であるが、大人数授業との比較が難しいため、「よくわからない」の回答が増えてしまったと考えられる。 ・授業公開日の周知を確実にを行い、より多くの保護者に参観いただくよう努める。 ・電子掲示板でのPRや国語科の協力を得ながら貸出冊数の増加を図っていく。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導だけでなく、その先を見据えた職業人講話などのキャリア教育が充実しており、素晴らしいと思う。 ・職業人講話では、様々な年代の講師に依頼すると、違った見方や考え方が広がり、良いのではないかと。 ・キャリア教育の一環として対人スキルアップは重要だと考える。そのためコミュニケーション能力講座などを実施しても良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が実践している「3か年一貫進路指導計画」では、各年次段階ですべきことが定まっている。将来の進路実現に向け、今後も体系的な進路指導を継続していく。 ・職業人講話の講師は本校のOB・OGを基本に依頼している。これまでも様々な職種や年代の講師の方々に貴重な体験談をお話いただいている。今後も継続していく。 ・コミュニケーション能力講座の実施については、各分掌と調整・連携し、検討していきたい。

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、生徒は学校ルールを守り、落ち着いた学校生活を送られていることが伺える。落ち着いた学校生活が、貴校重点目標の1つの「学力向上を目指した積極的な取組の充実」の実現に繋がると考えるため、引き続き、豊かな心を育む生徒指導の充実に努めていただきたい。 いじめは高等学校でも重要な課題の1つである。保護者の「いじめ防止に関する取組・配慮」の肯定的回答が低い、生徒の肯定的回答は高く、いじめの取組は十分行われていると捉えられる。学校のいじめ防止の取組を保護者にどのように周知するかが課題と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活は比較的落ち着いており、決まりを守るという意識が生徒たちには浸透している。 いじめについては職員研修も実施し、早期の認知や早期の組織的対応の重要性が職員の意識に定着している。今後も少しの変化も見逃さず、いじめ防止対策推進法のもと、学校いじめ防止基本方針に沿った対応を行っていく。
不祥事根絶	<ul style="list-style-type: none"> 先日報道にもあったように、教職員の不祥事根絶は千葉県の喫緊の課題となっている。とりわけ、わいせつ・セクハラ事案、飲酒運転等の不祥事が多い。市立高校では、不祥事根絶防止に向けた研修をしっかりと行っており、市立高校から不祥事を出さないという強い気持ちがある。 不祥事の元となりがちな教職員のストレス、過剰労働の削減等に向け業務改善が進み、時間外在校等時間の縮減が顕著である。引き続き、業務改善を進め職員の健康保持、不祥事防止に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶に関する校内での職員研修を複数回実施し、全職員が「絶対に本校から不祥事を出さない」という強い意志で臨んでいる。 時間外在校等時間を減らすという意識が全職員に浸透し、昨年度よりも縮減している。引き続き、業務改善を進め職員の健康保持、不祥事防止に努めていく。
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの更新を1月10日現在で78回行うなど、積極的な情報発信が伺える。引き続きお願いしたい。 保護者の自由記述から、日頃から先生方のきめ細やかな対応、声掛けが伺える。更に、生徒の自由記述からも、楽しい学校生活を送れている、先生方が熱心との記述があり、家庭において子どもから保護者に充実した学校生活の様子が伝えられていると考える。 その結果が、保護者から魅力ある学校として信頼されている、保護者が子どもを入学させてよかったといった質問に対する高い肯定的評価に繋がっていると考える。引き続き、生徒のために保護者・地域との連携をお願いしたい。 災害時や大雨時などで公共交通機関が止まってしまった時など、情報発信を速やかに確実に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域から愛され、支持される学校としてあり続けるよう、引き続き保護者や地域との連携を深めながら、学校運営を行っていく。 本校では「気象警報発令等の対応」が定まっておりますが、HPなどで周知されているが、近年、それでは判断が難しいケースが増えてきている。生徒の安全を第一に考え、情報発信を速やかに確実に行うよう努めていく。